

総合医療論

第2回目

看護領域の特徴



国際看護師協会 看護師の倫理綱領 前文

看護師には4つの基本的責任がある。すなわち、

- 健康を増進
- 疾病を予防
- 健康を回復
- 苦痛を緩和

である。看護のニーズはあらゆる人々に普遍的である。

看護には、文化的権利、生存と選択の権利、尊厳を保つ権利、そして敬意のこもった対応を受ける権利などの人権を尊重することが、その本質として備わっている。看護ケアは、年齢、皮膚の色、信条、文化、障害や疾病、ジェンダー、性的指向、国籍、政治、人種、社会的地位を尊重するものであり、これらを理由に制約されるものではない。

看護師は、個人、家族、地域社会にヘルスサービスを提供し、自己が提供するサービスと関連グループが提供するサービスの調整をはかる。

ダイバーシティとは

ダイバーシティ(Diversity)は、直訳すると**多様性**を意味します。現代社会は、年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好などさまざまな属性の人が集まる集団です。

ダイバーシティという言葉は、もともとは人権問題や雇用機会の均等などを説明する際に使われていました。

現在では多様な人材を登用し活用することで、組織の生産性や競争力を高める経営戦略として認知されています。

国際看護師協会 看護師の倫理綱領 前文

看護師には4つの基本的責任がある。すなわち、

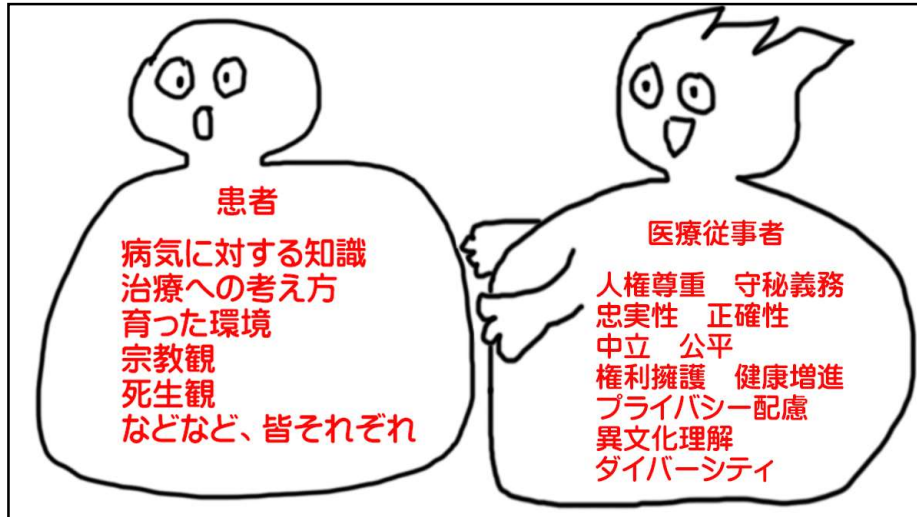
- 健康を増進
- 疾病を予防
- 健康を回復
- 苦痛を緩和

である。看護のニーズはあらゆる人々に普遍的である。

看護には、文化的権利、生存と選択の権利、尊厳を保つ権利、そして敬意のこもった対応を受ける権利などの人権を尊重することが、その本質として備わっている。看護ケアは、年齢、皮膚の色、信条、文化、障害や疾病、ジェンダー、性的指向、国籍、政治、人種、社会的地位を尊重するものであり、これらを理由に制約されるものではない。

看護師は、個人、家族、地域社会にヘルスサービスを提供し、自己が提供するサービスと関連グループが提供するサービスの調整をはかる。





看護の役割 6 項目

- 救命救急** 緊急処置と本人や家族等の心的支援
- 苦痛緩和** 社会的・心理的苦痛の緩和
- 不安緩和** 寄添い・理解・共感・多様な支援
- 悪化予防** 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防
- 連携調整** 多職種との連絡・調整
- 生活支援** ADL・生活相談・セルフケア援助支援

看護の役割 6 項目

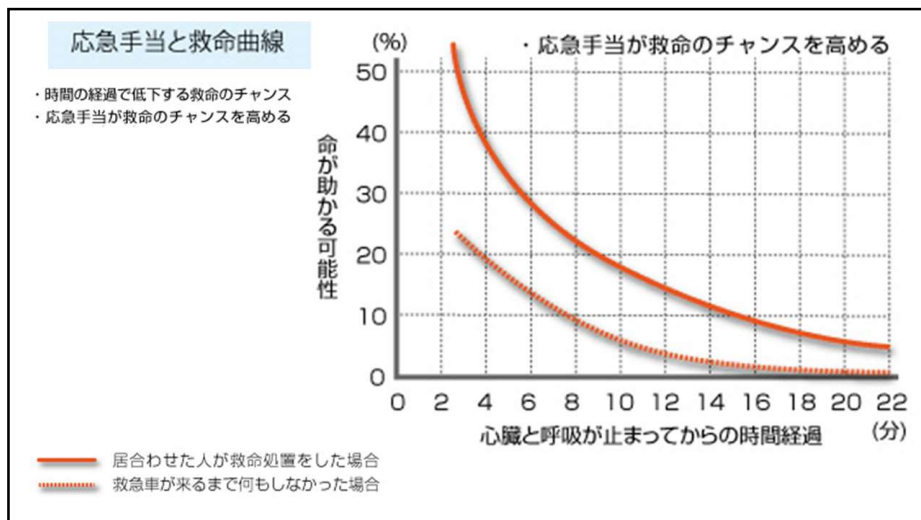
- 救命救急** 緊急処置と本人や家族等の心的支援
- 苦痛緩和** 社会的・心理的苦痛の緩和
- 不安緩和** 寄添い・理解・共感・多様な支援
- 悪化予防** 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防
- 連携調整** 多職種との連絡・調整
- 生活支援** ADL・生活相談・セルフケア援助支援

一次救命処置

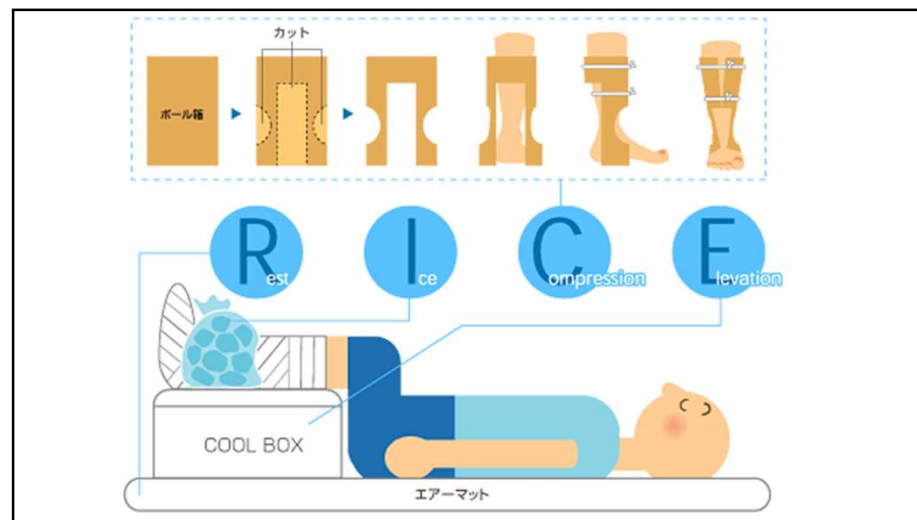
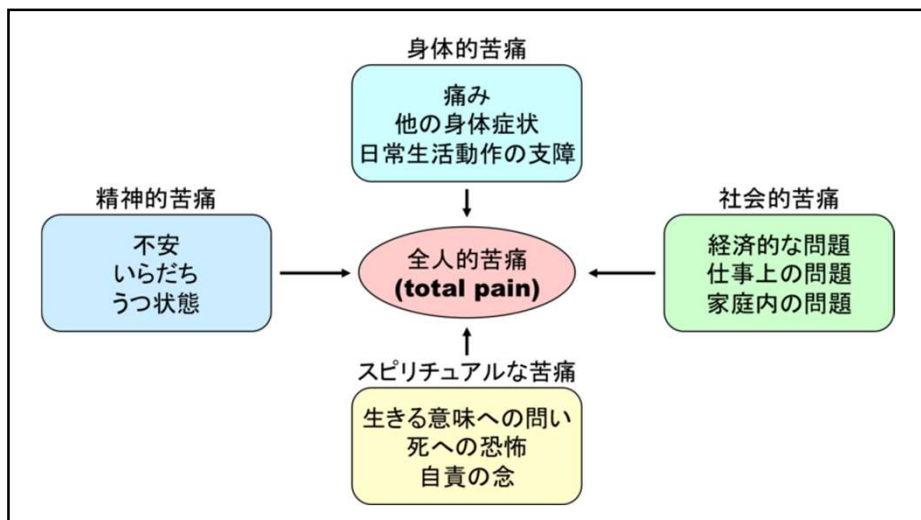
心停止の予防
早期認識と通報
一次救命処置
(心肺蘇生とAED)

二次救命処置

二次救命処置と
心拍再開後の集中治療

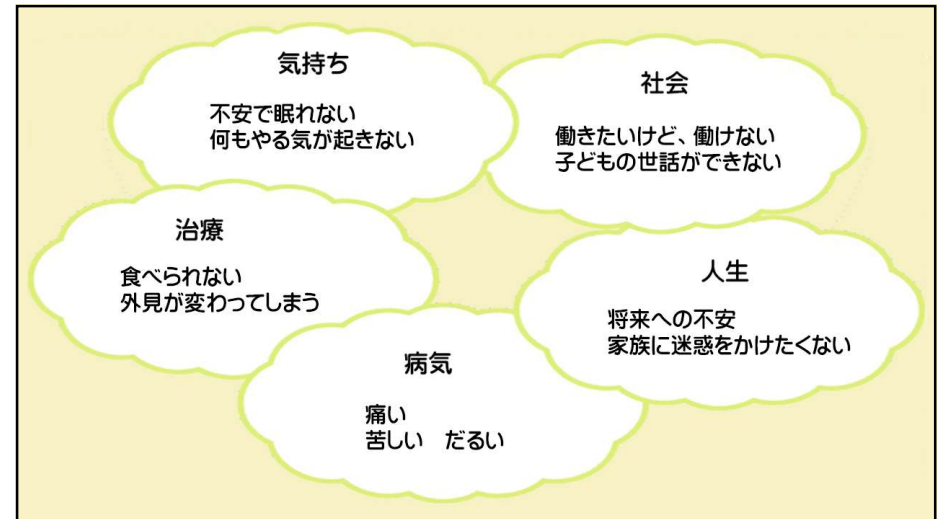


- ### 看護の役割 6 項目
1. **救命救急** 緊急処置と本人や家族等の心的支援
 2. **苦痛緩和** 社会的・心理的苦痛の緩和
 3. **不安緩和** 寄添い・理解・共感・多様な支援
 4. **悪化予防** 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防
 5. **連携調整** 多職種との連絡・調整
 6. **生活支援** ADL・生活相談・セルフケア援助支援



看護の役割 6 項目

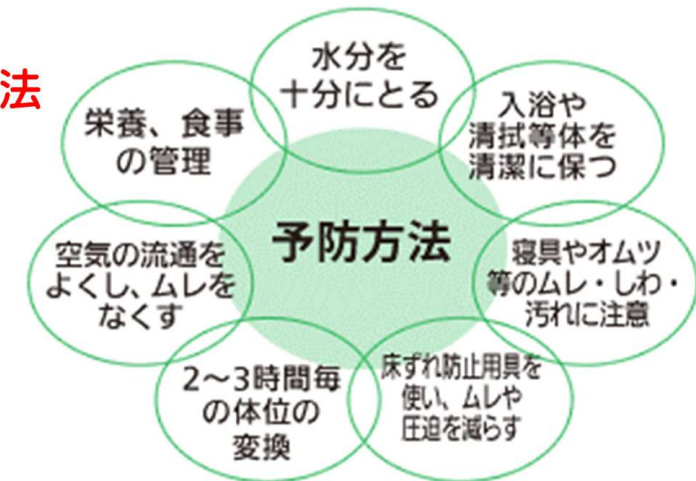
- 1. 救命救急 緊急処置と本人や家族等の心的支援
- 2. 苦痛緩和 社会的・心理的苦痛の緩和
- 3. 不安緩和 寄添い・理解・共感・多様な支援
- 4. 悪化予防 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防
- 5. 連携調整 多職種との連絡・調整
- 6. 生活支援 ADL・生活相談・セルフケア援助支援




看護の役割 6 項目

- 1. 救命救急 緊急処置と本人や家族等の心的支援
- 2. 苦痛緩和 社会的・心理的苦痛の緩和
- 3. 不安緩和 寄添い・理解・共感・多様な支援
- 4. 悪化予防 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防
- 5. 連携調整 多職種との連絡・調整
- 6. 生活支援 ADL・生活相談・セルフケア援助支援

褥瘡の 予防法




喘息の原因と予防




× 薬剤や化学物質の過敏症


○ 感染予防 → うがい・手洗い




× 花粉症
→ 治療薬、マスク・ゴーグルなど




× 煙・大気汚染・化学物質吸入



× 冷たい空気の吸入
× 気候の急な変動
→ マスク、発作治療薬

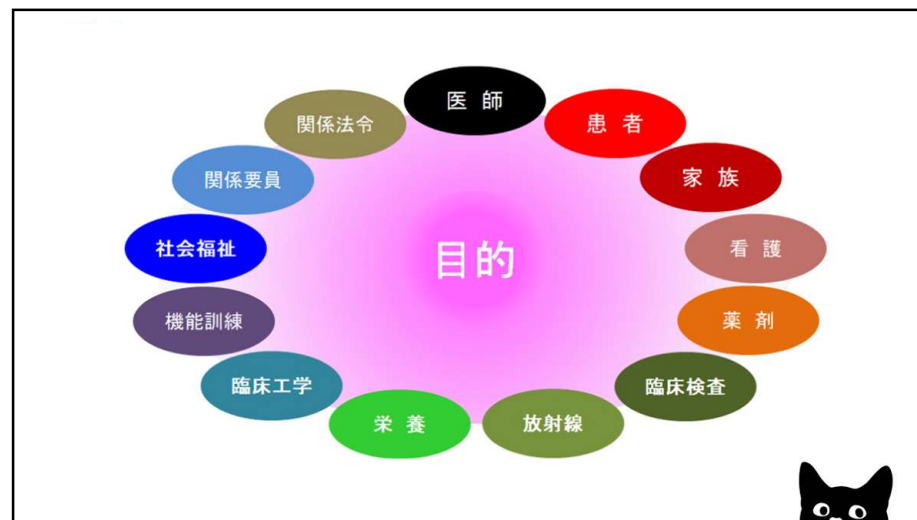
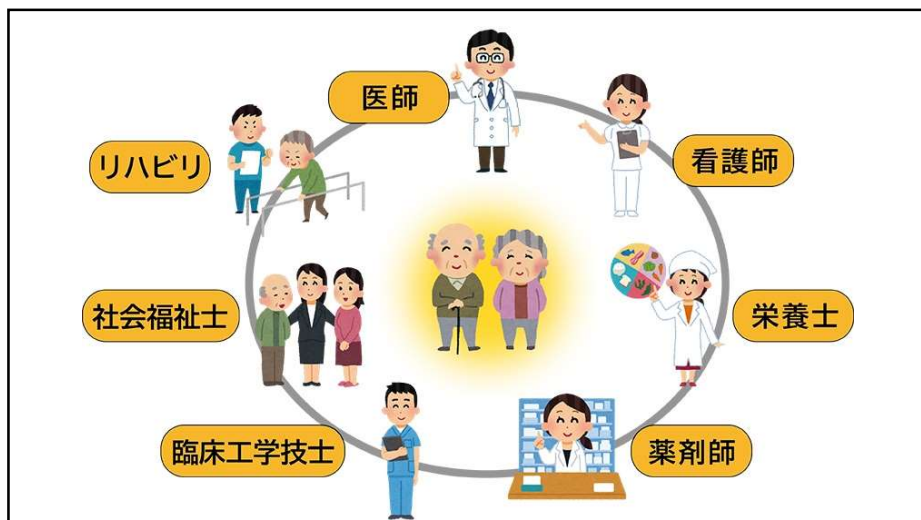


○ 予防接種
インフルエンザワクチン
ヒブワクチン(小児)
肺炎球菌ワクチン(小児・高齢者)



看護の役割 6項目

1. **救命救急** 緊急処置と本人や家族等の心的支援
2. **苦痛緩和** 社会的・心理的苦痛の緩和
3. **不安緩和** 寄り添い・理解・共感・多様な支援
4. **悪化予防** 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防
5. **連携調整** 多職種との連絡・調整
6. **生活支援** ADL・生活相談・セルフケア援助支援



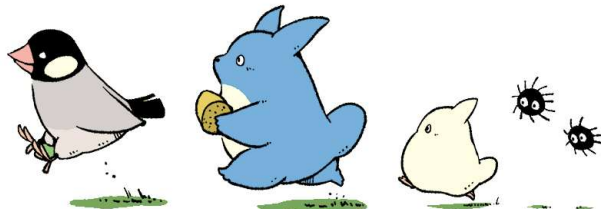
看護の役割 6 項目

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 救命救急 | 緊急処置と本人や家族等の心的支援 |
| 2. 苦痛緩和 | 社会的・心理的苦痛の緩和 |
| 3. 不安緩和 | 寄添い・理解・共感・多様な支援 |
| 4. 悪化予防 | 再発・合併症・転倒・褥瘡等の予防 |
| 5. 連携調整 | 多職種との連絡・調整 |
| 6. 生活支援 | ADL・生活相談・セルフケア援助支援 |



生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

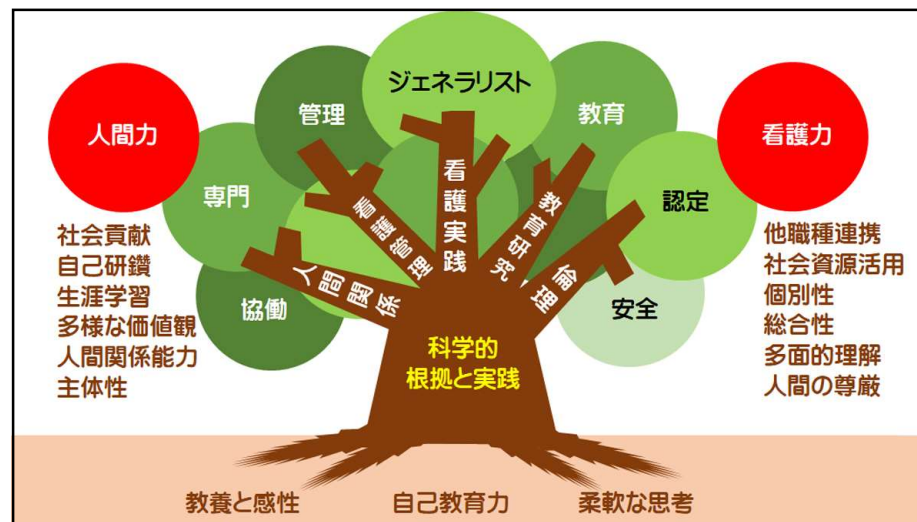
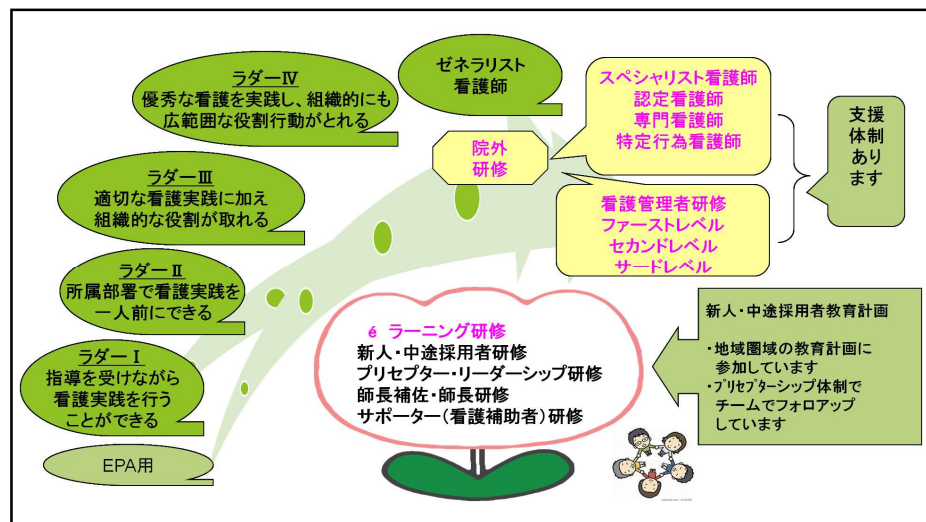
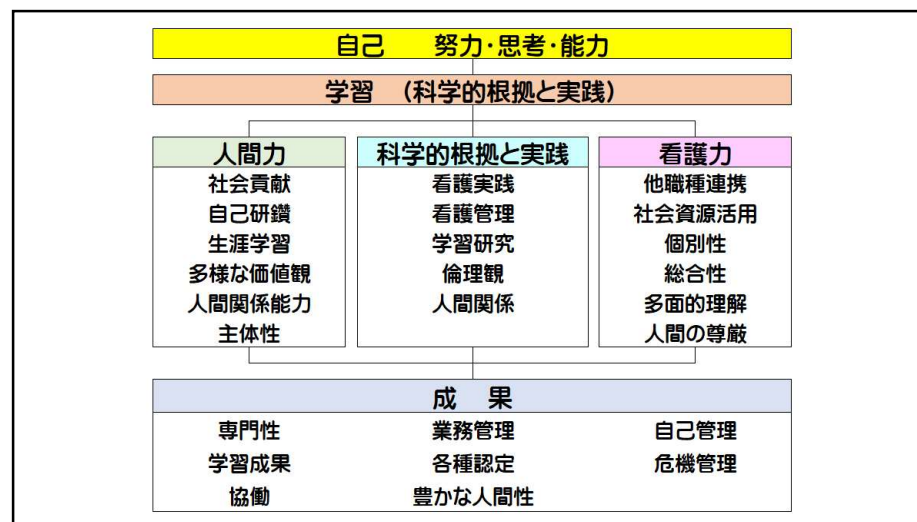
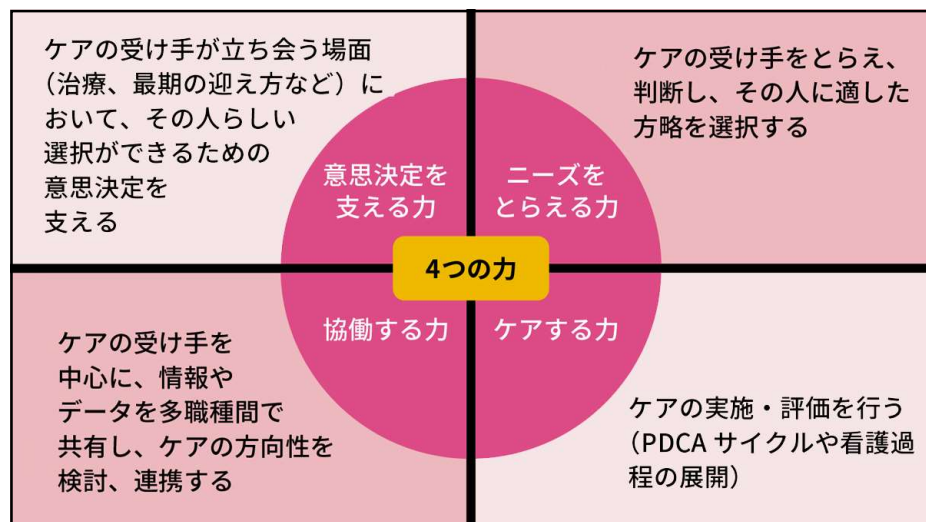
クリニカルラダーの開発



クリニカルラダー

「看護の質の向上」を目的に、臨床ナース一人ひとりが臨床における看護実践能力を高められるよう支援していくシステムであり、看護実践能力は、基礎教育で学習して知識・技術をもとに、実際に臨床で経験する中で知識を積み重ね、レベルⅠからレベルⅣへと看護実践能力を高めていくシステムである。

受け持ち患者の看護体験を通して各自の実践能力を認識することを重視し、それぞれの個性的な能力を尊重する。発達モデルのレベルに優劣は付けず、能力を獲得していく過程の膨らみを捉える方法である。



看護を学ぶ = 命を学ぶ

滋賀県
草津看護専門学校

看護という仕事は、ヒトの生死に関わる仕事です。
臨床の現場に出れば、体力的にも、精神的にもつらい時があります。

それでも優しい心で、そして、強い心で患者さんやご家族に寄り添える
看護を学ぶ気持ちが大切です。

看護師になるために必要なものは、実はとてもシンプルです。

それは、**人を想うことができるかどうか。**

誰かの助けになりたい、誰かを笑顔にしたい、誰かに元気でいてほしい。
そういった想いは、とても大切な看護師の素質です。

草津看護専門学校 HP抜粋

知識や技術のその先に、看護という仕事の本質があります。
大切なのはもっと深いところ、心にある、それが、命と関わる姿勢です。
命との関わり合いの場所では、人を想う気持ちが、何よりも必要なのです。

誰かを想い、誰かに笑顔でいてほしい、誰かの助けになりたい。
そう思っているのなら、あなたは立派な看護師の卵です。

看護の本質を見つめ、看護師として、人としての、在り方を見つめ続けることのできる、そんな人になってほしいのです。

看護とは、評価のあるものではありません。
答えのない看護の道で、誰かからの評価はなく、何を大切するのか、を見つける。そして、その対応が、患者さんにとって幸せだったのか、あなたは幸せだったのか。

人と、命と、自分と、向き合ってください。
それを大切にできた人が、人の身体と心を救える看護師になるのです。そして、**看護師という仕事は、あなたを人として成長させ、いずれ、あなたの誇りとなること**でしょう。

自分の道を、自分でつくって行ってください。
たくさんの人と出会って、あなたの人生を決めてください。
あなたの目で見て、耳で聞いて、あなたの道を選択してください。

次回予告



生命への畏敬